

令和8年9月第3回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 丸山 邦久】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
1. 木島平村農業振興公社の令和7年度決算報告と経営改善について	木島平村農業振興公社（以下、公社と言う）の業績が急速に悪化している。令和4年度までは当期利益が100万円以内の欠損（赤字）に抑えられていたものが、令和5年度280万1千円、令和6年度435万4千円、令和7年度1,104万9千円と欠損額が急速に膨れ上がっている。特に、令和7年度は補正予算で1,100万円の補助金を積み増ししているのに、実質赤字は2,204万9千円になる。 この業績悪化に伴い、繰越利益は令和3年度に1,466万6千円あったものが、令和7年度にはマイナス472万1千円となった。 また資本金に当たる基本金の取崩額が令和5年500万円、令和6年1,000万円、令和7年700万円となっている。その結果、基本金は5,200万円から3,000万円へと急激に減少している。待ったなしの経営改善が必要である。そこで伺う。 ① この状況をどのように受け止めているか。外部要因などの説明は、後の質問で伺うので、簡潔明瞭にわかりやすい答弁を求める。 ② 外部環境による業績悪化をどのように認知しているか。 ③ 公社の経営方針に起因している経営悪化はないか。 ④ 令和8年度の公社の組織図を見ると集落支援員4名が配置されている。村からの職員も派遣されているが、その人件費の総額はいくらか。また、集落支援員は令和7年度の2名から令和8年度は4名に増員されているが、その人件費増加分は確実に業績改善できるか。 ⑤ 今まで公社の経営改善のために、どのような指導をしてきたか。また、今後どのような指導をしていくのか。	村 長
2. 木島平村の自主財源と産業振興の必要性について	全国から議員が集まる研修会に行き、議員間で「木島平村は村税収入が一般会計歳入総額に対して9.9%だ。」と言うと「村独自で何か事業をやろうとしてもできないですね。」とよく言われる。そこで伺う。 ① 3期12年近くにわたって村長を務めているが、他所の議員の指摘するようなやりづらさは無かったか。 ② 自主財源が50%を超えている自治体の議員の話では、地方税の多くは誘致企業の固定資産税であった。村の財政が豊かになり、「住んで良かった村」になるためには、企業誘致や創業支援が必須であると考えているが、村長の考えは如何か。 ③ 企業誘致の戦略はどのようなものを考えているか。 ④ 創業支援はどのようなものと考えているか。また、その財源は何か。	村 長